

◆基本設計ワークショップ⑤意見交換当日まとめ

当日の意見交換会の中で各グループで出た意見をメモしたものをフロアごとに事務局でとりまとめました。「→ゴシック体(太字)」は事務局の回答です。

【外構、配置計画】

ロータリー、駐車場

- ▼病院から院外調剤までのアクセスは、雨でぬれないようにして欲しい。可能であれば、院内処方と院外処方の選択ができるとうい。
- 薬局につきましては、厚生労働省の通知により、「構造的、機能的、経済的に医療機関から独立していること」が求められていますので、医療機関の敷地内や建物内に計画することは難しいと考えます。また建築基準法上、建物は公道に面している必要があるため、新病院敷地が四方を公道に囲まれている形状であるため、民間の門前薬局は、道路を横断した向かい側の位置になってしまいます。院内処方につきましては、対応できるよう検討いたします。
- ▼大震災でトリアージエリアが埋まってしまった場合、立体駐車場でも行えるとのことだが、立体駐車場も免震構造なのか。
- 立体駐車場は耐震構造となっております。なお、免震構造が免震ピットにより地面の揺れを建物に伝えない構造であるのに対し、耐震構造は建物の躯体を筋交いや耐震壁などで強化し、頑丈な骨組みをつくることで地震の揺れに耐える構造とするものです。

その他

- ▼屋上にヘリポートは作らないのか。立体駐車場に降りることはできないだろうか。
- 屋上ヘリポートを含め、病院敷地へのヘリポートの計画はしておりません(常滑市民病院ではドクターヘリによる搬送は2-3年に1度、それに対して設置費用は2~3千万円かかり、また毎年数百万円の維持費も必要となります)。なお、ドクターヘリの着陸時には15トン以上の荷重がかかるため立体駐車場には着陸することはできませんので、常滑中学校などを予定しています。
- ▼災害時の予備ベッドはどれくらい確保しておく予定なのか。
- ⇒予備ベッドの台数や保管場所も含め医療機器整備の中で検討いたします。
- ▼ベイシアと協定し3日分の食料確保をお願いできないか。
- ⇒ベイシアと協議していきたいと思ひます。
- ▼時間外出入口に車イスを置くスペースはないのか。
- ⇒時間外出入口には車イスを置くスペースを用意します。

【1階フロア】

エントランス、コンビニなど

- ▼エントランスホールでコンサートを開催ができるようにして欲しい。
- ▼医事課受付カウンターにはシャッターを設置して、シャッターを閉じているときには病院らしくないような雰囲気作りをして欲しい。
- ▼外来エントランスホールは、小イベントもできるように、外来受付はシャッターで閉める工夫が必要である。
 - 医事課の受付についてはシャッターを設置し、また中央待合のイスを動かすなどコンサートが開催できる設えを検討いたします。病院らしくない雰囲気作りにつきましては、どのようなアイデアがあるかも含めて、第6回のワークショップの中でご提案ください。

- ▼ボランティアの方が休憩できるようなイス・テーブルを配置して欲しい。
 - ボランティアステーションにはボランティアの方が休憩できるように、イスやテーブル、ミニキッチンを考えています。またボランティアの方が実際に活動される場所にはイス等を用意します。

- ▼コンビニで買ったものを食べるスペースを確保して欲しい。
- ▼喫茶コーナーでは、喫茶店としてのスペースではなく、院内コンビニやベイシアで購入した物を食べることができるスペースとして利用したい。例えば、コンビニと喫茶コーナーの壁を取り払う等。ただし、喫茶を利用したい方のために、6階の外来レストランでは喫茶を兼ねた運用ができるとうい。
- コンビニや喫茶、情報ライブラリーといったアメニティに関してはそれぞれの配置やイメージも含め、第6回のワークショップの中でご提案をいただければと思います。

- ▼コインロッカーを配置して欲しい。できれば保冷機能付きのコインロッカーとして、ベイシアで買い物したものを保管できるようにして欲しい。
 - 保冷機能付きのコインロッカーについては維持や管理を考えると病院側で提供することは難しいと考えます。スペースの問題はありますが、近隣の商業施設を含めて、ロッカーを扱う業者には、スペースを貸す形でいただいたご意見を提案してみたいと思います。

- ▼手すりを設置できない場所でも固定イス・ベンチを使って、手すり代わりにできるようにして欲しい。
 - 手すりや案内板については今後の検討事項となりますので、どこにつけるのが効果的かなど、ご提案いただけるとありがたいです。ご提案の手すり代わりにする固定イスやベンチについては、今後、什器等を選定する際に参考とさせていただきます。

- ▼災害時にエントランスホールがトリアージエリアとなるのであれば、2階の吹き抜け部分から見下ろせる形になると良いと思う。
 - トリアージエリアの一つとして予定しているエントランスホールは吹き抜けとなっていますので2階から見下ろすことができます。なお、災害時にエン

ンスホールと、とこなめホールのどちらを優先してトリアージエリアとするかについては今後検討いたします。

外来診察室、待合

- ▼待合イスは、通用のイスの他に、足が曲がらない患者のためのイスの設置も必要である。
 - 足が曲がらない患者のためのイスとは、南生協病院にあるイスの事だと思われれます。南生協病院に確認後、導入を検討いたします。

- ▼小児科を利用する患者は待っているのが大変であるので、建物南側から呼ばれたらさっと入れるようにして欲しい。職員駐車場の一部を小児科専用指定してはどうか。
 - 自家用車への連絡につきましては医療情報システムの中で、病院南側へ小児科専用駐車場を整備することにつきましては運用面も含めて今後検討していきたいと思えます

とこなめホール

- ▼「とこなめホール」という名称は、コンサートホールのようなイメージを持ったため、名称変更した方が良いでしょう。市民から名称の募集をしてはどうか。
 - 病院や保健センターの機能の一部ではありますが、未使用時は一般に開放して使っていただく運用を考えておりますので、その際はコンサートなどもできます。「とこなめホール」という名称につきましては変更や市民からの募集も含め、今後検討します。

- ▼とこなめホールでイベントを行う場合、出演者の更衣室が必要であるが、現在設置されていないように思える。ボランティア室に更衣スペースがあれば、そこを活用してもよい。
- ▼講師の控室がない。倉庫の一部を利用してはどうか。
 - 病院が行う会議や講演等の講師の方々につきましては、開始までは、2階管理区域内の応接室でお待ちいただき、職員が会場までご案内することになると考えます。ホールに控室があるのが望ましいのですが、ホールのスペースを狭めてしまいます。病院での会議からコンサートまで、またトリアージエリアの一つとして有効に活用できるようにホールのスペースはなるべく広く確保したいと考えます。コンサートなどの出演者の着替えにつきましては、ボランティア室の隅に更衣スペース(デパートなどの更衣室をイメージして下さい)などを利用するなど、運用面の工夫で対応できないでしょうか。

- ▼ロビーを通らずに行けるようとこなめホールへは保健センター側から入ると良い。
- ▼ホール利用者のうち車イスの方が利用するトイレがホールからかなり遠い。
 - ご指摘はごもっともです。とこなめホールに一番近いトイレのまわりには救急や中央処置室など病院に必要な機能が数多くあるため、多目的トイレを確保するのは難しいと考えます(確保するためには、ボランティアステーション

が狭くなります)ので、少し遠くなりますが、外来の多目的トイレ(ホール出入口から 20m程度の距離)をご利用いただければと思います。

エレベーター

- ▼見舞客が利用する一般用のエレベーターの配置は変えることは難しいと聞いたが、中央待合を通らずに行けるように保健センター側の出入口か、時間外の出入口が日中も空いているならそちらから入れないか。
 - 保健センターの出入口からは階段(またはエレベーター)で2階のホールに行くことしかできません。中央待合を通ることで感染を心配される方は時間外出入口から入っていただければ、中央待合を通らずに行くことが可能です。
- ▼6階のレストランへ行くためには一般のエレベーターの配置が分かりにくいのではと思う。
 - 病棟が西側と東側の2看護単位である以上、エレベーターは各フロアの中央部に必要です。当初のプロポーザルの提案では、メインエントランスが北側であったため、エントランスから入って正面に見舞客用の一般エレベーターを配置できましたが、常滑の北西からの強風対策として、メインエントランスを東側にする必要があるため、現在の配置となってしまいました。事務局もご指摘と同じ考えで、何とかならないかと試行錯誤しましたが、結局、原案のようにならざるを得ませんでした。

その他

- ▼メインエントランスから診察室など南側を望んだとき、各室の角があって見通しにくいとおもうが。
 - 第5回のワークショップにて、現在修正中の図面をお見せしましたとおり、頂いた意見をもとに角を取ったつくりへと修正しています。

【2階フロア】

保健センター

- ▼例えば、予防医学の観点から料理教室を開催する際、ミニコーラス等とコラボレーションして企画をすることも想定しているため、移動距離があまりないよう保健センターエリア内でスペースが確保できないか。
- ▼病院スタッフも多く勤務されているため、ある程度のスタッフレストランスペースの確保は必要である。そのため、2階保健センターの多目的室の一角に調理コーナーを設け、使用しない時は扉を閉める等、スペースを確保してはどうか。
 - 6階の調理コーナーにつきましては、保健センターや栄養管理室が行うさまざまな事業で使用を考えていますので、保健センターや栄養管理室の意向を聞きつつ検討していきます。また多目的ホールへの配置につきましては、保健センターの職員の意見も聞きつつ第6回のワークショップにてご提案いただければと思います。

【4、5階フロア】

病棟、病室

- ▼ベッドサイドのスペースが医師、看護師、患者が十分に行き来できるスペースを確保して欲しい。
 - 次回、第6回のワークショップでは、4床室の寸法入りの図面をご用意しますので、そちらを見ていただき、必要なスペースについてご意見をいただくと幸いです。

- ▼廊下から病室を見たときに患者が丸見えにはならないようにして欲しい。
 - 入室の際は必ずノックをするなど職員に徹底させますが、個室のドアを開けた際に中が見えてしまうことがないようにカーテンの設置はいたします。

- ▼シャワー有の個室を設けて欲しい。
 - 全ての個室にとはいきませんが、シャワー付きの個室を整備します。

- ▼小児科病室には、ちょっとした洗い物ができるようなシンク等の設備を整備して欲しい。
 - 病室内に洗濯機などを設置するのは難しいです。個室にある洗面で対応していただき、無理な場合はコインランドリーの利用をお願いしたいと思います。

- ▼建築段階で病室等を実体験できるモデルルームを製作して欲しい。
 - 予算との都合もありますが検討いたします。なお、工事の中で一部屋だけ仕上げを早く済ませることで対応することなども考えられます。

【6階フロア】

職員食堂、外来レストラン

- ▼入院患者も気分転換に外来レストラン（喫茶）等を土日に利用したい。
 - 業者の募集の際に、土日に喫茶や外来レストランを営業することを病院側で決定してしまうことで、手を上げる業者がいなくなってしまうといった問題もありますので、今後の業者の募集や選定の中で検討していきます。デイルームなどに自動販売機を設置するなどの検討はしたいと思います。

- ▼現在、6階の調理コーナー（8人程度用）を設計されているが、恐らく10～12人程度が同時に調理することになるため、調理コーナーを少し広くとり、スタッフ用レストランを多少狭くすることはできないか。
 - 6階の調理コーナーにつきましては、保健センターや栄養管理室が行うさまざまな事業で使用を考えていますので、保健センターや栄養管理室の意向を聞きつつ検討していきます。

【その他】

設計以外に関すること

- ▼ 図面がいつまでたっても9月5日時点のものだが、その後自分たちの意見を反映したことが分かる最新の図面はないのか。反映されていないようで心配。
- ▼ 意見を考慮したあとの図面を見せて欲しい。できれば一般へ公表される前に見たい。
 - 皆さまからいただいているご意見の中で、可能なものは最大限反映し図面を修正しているところではありますが、毎回図面が変わると変更箇所の確認に時間をとられてしまったり、混乱してしまわないかと考え、9月5日時点の図面を使用し続けています。また第5回のワークショップにて1階の外来部分の修正中の図面をお見せしたように、現在部門ごとに修正の作業を行っていますので、現在ワークショップで使用している大きさのフロア毎の図面はございません。完成が10月中下旬と聞いておりますので、第6回のワークショップまでに完成が間に合いましたら、ワークショップにてお見せしたいと思います。